

「彦根市都市公園評価結果」(様式1) 平成30年度

所管課 都市計画課

(1) 総合評価は、評価基準の各項目ごとに委員会でA、B、Cの3段階で評価した。

(2) 評価は、以下の3段階とする。

A…優れている。 B…概ね適正に行われている。 C…改善を要する。

(3) 評価結果

No	基準項目	選定項目	細目	総合評価
1	市民の平等な利用の確保	1 施設の設置目的および市の管理運営方針	公園(公共の福祉の増進を図る)の設置目的を理解して運営できたか	A
			管理運営に対する基本方針と実施内容が合致したか	A
			効率的な管理運営が図られたか	A
		2 平等な利用を図るための具体的な手法およびその効果	公平性・利便性が図られたか	A
2	施設の効用の最大限の発揮	1 利用者の増加を図るための具体的な手法およびその効果	公園利用者増加に向け計画的な取り組みができたか	A
			自主事業の内容が公園の特性を活かしたものであったか	A
			効率的、効果的な公園のPRが図られたか	B
			地域の関連団体との連携や協働が図られたか	A
		2 サービスの向上を図るための具体的な手法およびその効果	公園利用者のニーズを的確に把握し、質の高いサービスの提供が図られたか	A
			来園者のサービス向上が図られたか	A
		3 施設の維持管理内容、適格性および実現の可能性	公園施設の維持管理は適切であったか	A
			植栽の適切な維持管理が1年を通じ実施できたか	A
			指定管理者として目指す公園の将来像を見いだすことができたか	A
			害時、緊急時の危機管理、連絡体制は適切であったか	A
3	管理を安定して行なうことができる経営規模や経営能力	1 収支計画の内容、適格性および実現の可能性	収支の積算と事業計画の整合性が図られたか	A
			市の示した使用料収入下限額を上回ることができたか	A
		2 安定的な管理運営が可能となる人的能力	職員の体制は適切に配置できたか	A
			知識、経験を有した職員を適正配置させることができたか	A
			職員の指導・育成や研修体制は確実に実施できたか	A
			施設管理費等の縮減に向けて具体的・現実的な内容となったか	A
4	施設の管理費用の縮減	1 施設の管理	施設管理費等の縮減に向けて具体的・現実的な内容となったか	A

評価の理由、コメント

A…20

B…1

C…0

指定管理者として通算13年目に入り、事業計画の基本方針に基づき、安全性、快適性を高め、効率的な運営管理を進めている。今年度も、施設改修や災害等(主に台風)により、公園利用者数の減少が懸念されたが、施設改修後のPR活動や迅速な復旧作業により、結果として公園利用者数は前年度より大幅に増加し、利用料収入においても目標額をクリアすることができた。

前年度に引き続き抽選会、利用調整会の開催およびHPでの施設予約状況の発信により、公平で利用者の立場に立った運営に努められている。

金亀公園・荒神山公園において開催している様々なイベントには、毎年度安定した参加者がおられ、利用者の関心の高さがうかがえる。

新たに指定管理として加えた庄堺公園のバラ園については、これまで本市が実施してきたボランティア活動を継続して行うなど、適切な維持管理を行うことができた。バラの開花状況も良好であり、多くの来園者が訪れた。